



PCによる自動品質管理システム

## Company Profile

### 高良鍍金株式会社

住 所 / 〒590-0001  
堺市堺区遠里小野町  
3-1-16

創 業 / 昭和24年12月

設 立 / 昭和26年12月

資本金 / 1,000万円

従業員 / 10名

T E L / 072-232-3265

F A X / 072-233-7570

#### ■主な事業内容

電気亜鉛めっき3価クロメート  
処理

#### ■主な取引先

自動車部品メーカー、弱電メー  
カー



## 当社のセールスポイント

地球環境を大切に考え、  
品質にこだわり続けます。



代表取締役  
高良 輝さん

私たちは規模は小さなめっき専業者ですが、大きな志と勇気とチャレンジ精神を持っています。その一例が6価クロメートを一切使用せず、3価クロメートのみで製品をつくっていることです。私たちはこれからも地球環境を大切に考え、品質にこだわり、常に改善改革の精神を発揮し進化を続けていきます。

# 環境にやさしい世界基準、 「3価クロメート」のみでの稼働を誇る

## 高良鍍金株式会社

<http://www.takara-plating.co.jp/>

大阪  
21

### 3価黄



### 3価黒



自転車の町・堺で  
ニッケルめっきを柱に創業、  
6価クロメートで成長

自転車のハンドルやスポークにはニッケルめっきが施されており、キラリと光る美しい光沢がある。堺で創業した高良鍍金は、その電気ニッケルめっきと、電気亜鉛めっきを柱として事業を展開していた。しかし、間もなく自転車部品産業が海外にシフトしていったため、電気ニッケルめっき事業を廃止し、電気亜鉛めっきに特化していくことになる。亜鉛めっきは、耐蝕性に非常にすぐれ、建築部品や自動車のエンジンルームや足回り部品等に施されている。後処理として、その上にクロメート皮膜を覆うことで、さらに防錆性、耐蝕性を発揮させた6価クロメート皮膜と呼ばれるものが一般的に普及。高良鍍金でも日本の高度経済成長の後押しを受け、6価クロメート電気亜鉛めっきを推進していった。いわば事業展開の成長期であった。

6価から3価クロメートへ、  
世界動向に合わせた勇氣ある決断

ところが、6価クロメートには高濃度な有害物質が含まれている。そのため環境意識の高い欧州では「6価クロム使用全面禁止」の規制がはじまった。そこで生み出されたのが、薬剤で苛性皮膜を生成する有害物質を含まない3価クロメートだ。自動車、家電製品等欧州を相手にグローバルな事業を展開している業界は、当然この3価クロメートに着目しそれにシフトしていくことになる。

高良鍍金でも2005年、6価を全廃し3価クロメートに事業の転換を図る。「これからは環境への配慮も含めた品質の時代だ」との見解からの勇氣ある決断であった。とはいえ、その道は厳しかった。徹底した管理体制と品質の安定化が求められ、従業員の意識も根底から変えていく必要があった。また、そのための設備投資もかなりなものであった。生産ラインの電子化、コン



3価クロメート専用  
全自動亜鉛めっきライン

ピュータ化は他に類を見ないほどに整備。薬剤メーカーと協力し、品質の安定化に懸命に努めた。そうした中でも、高良鍍金は新たな技術課題へのチャレンジを続けた。3価クロメートでも最も品質の安定化と管理が困難とされる黒色の量産に成功。さらには新たに黄色を完成させるなど、その技術を次々と実らせている。この3価クロメートもひとつの通過点であり、最終の目標は「3価クロム」。そのための取り組みもすでに始まっているという。